

第11回 肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会

【これまでの取組状況と今後の予定について】

関係機関の取組状況整理一覧表

○肱川の減災に係る取組方針

概ね5年で実施する取組の実施状況及び今後の予定

項目	事項	内容	課題の対応	取組の進捗状況	大洲市				伊予市				西予市				砥部町			
					実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
1)ハード対策の主な取組																				
■洪水を河川内で安全に流す対策																				
		<p><激特事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(肱川) ・小泉浜箇所の堤防整備 ・加世箇所の堤防整備 ・玉川・只越箇所の堤防整備 ・如法寺箇所の堤防整備 ・柚木箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外7箇所の暫定堤防嵩上げ ・JR矢落川橋梁の陸岸等 ・小倉・中尾・父・裾野・追打下流・本郷・追打上流・菅田・村島・阿部板野・池田成見工区の暫定的堤防整備 <p><久米川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・久米川工区の堤防整備等 <p><激特事業以外></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(肱川) ・惣瀬箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外6箇所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダム改修 ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備 ・野村工区の堤防整備等 ・(河辺川合流点付近)の河床掘削及び河辺川護岸嵩上げ ・柚木、裾野第二、藤の川、諺葉、大川、宇和川工区の暫定的堤防整備等 <p><流域内河川></p> <ul style="list-style-type: none"> ・河床整正等による流下阻害箇所の解消 	M1、M2、M3、M4	実施中																
■危機管理型ハード対策																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・(肱川) ・宇和川(瀬戸工区)の重要水防箇所の堤防補強 	M1、M2、M3、M4	実施中																
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・早期に氾濫が発生する地区に対して、洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する水位計の整備 	C1、C7	<ul style="list-style-type: none"> ・実施中 ・※一部機関は実施済み 																
		<ul style="list-style-type: none"> ・肱川減災対策計画に基づく排水路の整備 	K2	実施中	<ul style="list-style-type: none"> ・肱川減災対策計画に基づき対応可能箇所より排水路等の整備を実施 	2018年度を目処	2018年度に田淵地区(田淵川)止水壁及び釜場の設置を実施済み。	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の肱川減災対策計画に基づくハード整備については、概ね完了。 ・激特事業の整備に合わせた新たな肱川減災対策計画の策定に取り組む。(計画策定業務委託、肱川減災対策連絡会設置等) 												
		<ul style="list-style-type: none"> ・国管理区間については、避難行動に必要な映像提供を考慮した河川監視用カメラの配置計画を見直し(設置目的に応じた性能最適化・集約化等)、順次整備を実施。 ・県管理区間については、協議会の場等を活用して、河川監視用カメラ配置計画を検討・調整し、順次整備を実施。 	E4	<ul style="list-style-type: none"> ・実施中 ・※一部機関は実施済み 																
		<ul style="list-style-type: none"> ・光ファイバーの二重化、架空区間の埋設化の検討を実施 	E4	実施中																
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端を活用した緊急輸送路の整備及び避難路としての活用運用整備 	D2	実施中																
		<ul style="list-style-type: none"> ・水防活動の迅速化、水害対策に活用できるよう「土のうステーション」を整備 	I2	実施済み	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋・店舗等の浸水を防ぐための土のうを予め備えるため、土のうステーションを3基設置。(300袋から600袋備蓄) 	2016年度	土のうステーション設置(2016.5.9)													

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整			
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
				<激特事業> <藍川> ・小倉・中尾・父・裾野・追打下流・本郷・追打上流・菅田・村島・阿部被野・池田成見工区の暫定的堤防整備 <久米川> ・久米川工区の堤防整備等 <激特事業以外> <藍川> ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備 ・野村工区の堤防整備等 ・藍川(河辺川合流点付近)の河床掘削及び河辺川護岸嵩上げ ・柚木・裾野第二、藤の川、譲葉、大川、宇和川工区の暫定的堤防整備等 <流域内河川> ・河床整正等による流下阻害箇所の解消	2023年度 までに実施 2023年度 までに実施 2023年度 までに実施 2019年度 から検討 引き続き実施	<藍川> ・菅田工区の約30mが完成 ・村島工区の上流部約870mが完成 ・岩瀬川工区 藍川本川から約440mが完成 ・その他の工区については実施中 <久米川> 段階的嵩上げの工事推進 <流域内河川> 河床整正を実施中	【内容】 <藍川> ・目標時期内に完成するよう事業を推進 <久米川> ・目標時期内に完成するよう事業を推進 <流域内河川> 必要に応じて実施									<激特事業> <藍川> ・小長浜箇所の堤防整備 ・加世箇所の堤防整備 ・玉川・只越箇所の堤防整備 ・如法寺箇所の堤防整備 ・柚木箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外7箇所の暫定堤防嵩上げ ・JR矢落川橋梁の陸揚等 <激特事業以外> <藍川> ・惣瀬箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外6箇所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダム改造	2020年度 2023年度 2018年度 2018年度 2016年度 2018年度	<激特事業> ・全箇所実施中 <激特事業以外> ・惣瀬箇所の堤防整備(2018年度完成) ・東大洲箇所外6箇所の段階的嵩上げ(完了) ・旧堤撤去(完了) ・鹿野川ダム改造(完成)	【内容】 ・目標時期に完成するよう事業を推進
				<藍川> ・宇和川(瀬戸工区)の重要水防箇所の堤防補強	2020年度	<藍川> 工事実施中	<藍川> 引き続き工事実施												
				・久米川で水位観測開始 ・藍川上流域において、洪水時の避難勧告等の発令判断の目安となる情報提供を検討 ・危機管理型水位計の設置	2016年5月 引き続き実施 2018年度 から検討	・久米川水位計設置(完成) ・藍川(菅田～鹿野川)、藍川(野村)、小田川を水位周知河川に指定(完成) ・危機管理型水位計を19基設置	・追加設置を予定									・越流堤箇所の越流深を計測するため、水位計による越流深の計測を実施 ・危機管理型水位計の設置	2016年度 から順次実施 2018年度 から検討	・越流堤防箇所に水位計を設置(完成) ・危機管理型水位計を11箇所設置(完成)	
				・県管理区間については、協議会の場等を活用して、河川監視用カメラ配置計画を検討	2017年度 から検討	・藍川本川(西予市2箇所、大洲市3箇所)及び小田川(内子町1箇所)において、愛媛県河川監視システムによるライブカメラを設置(完成)										・CCTVカメラの配置について、改めて検討を実施	2016年度 から検討	・CCTVカメラ映像の配信箇所の追加(川の防災情報HPでの公開) ・CCTVカメラの配置計画の見直し(2018年度済み) ・空間監視として2箇所(富士山、神南山)にCCTVカメラを追加設置(2020年度に完成予定)	【内容】 ・堤防箇所の進捗に合わせてカメラを移設等。 【時期】 ・堤防箇所の進捗は2023年度までに実施予定
																・光ファイバーの二重化、架空区間の埋設化の検討	2016年度 から検討	・新規堤防箇所(惣瀬)地区への光ファイバーの接続(2020年度に完成予定) ・矢落川の二重化(2020年度完成予定)	【内容】 堤防整備の進捗を加味しつつ、光ファイバーの二重化、埋設化を検討 【時期】 2023年度までに検討
																・堤防天端を活用した緊急輸送路の整備及び避難路としての活用運用整備	2018年度	・緊急輸送路の整備延伸	【内容】 藍川橋架け替え完了にあわせて、緊急輸送路の延伸 【時期】 藍川橋架け替え完了時

○脇川の減災に係る取組方針

概ね5年で実施する取組の実施状況及び今後の予定

項目	事項	内容	課題の対応	取組の進捗状況	大洲市				伊予市				西予市				砥部町			
					実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
		・計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討及び排水機場の整備の検討	K4	実施中	・計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討	2016年度から検討実施	脇川流域総合整備推進協議会の要望活動において、国・県に対し排水機場等の整備や排水ポンプ車等の増強を要望。	【内容】 継続して要望活動を実施 【時期】 毎年実施												
		・フラップ化等の無動力化を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施。 ・国管理区間においては、市町村以外で操作委託が可能な団体について検討を実施	K2、K4、K5	実施中																
		・住民に対して、的確に警報を伝えるため、市と連携しつつ、警報施設を改良する。	E13、E14	実施中																
		・2018年の緊急点検を踏まえ、氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消 ・国管理河川については、関係者が連携して、対策後における継続的な維持管理が可能な体制を構築	—	実施中																
		・2017年の緊急点検を踏まえ、土砂・流木捕捉効果の高い透過型砂防堰堤等を整備	—	実施中																

2)ソフト対策の主な取組 ①円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する取組																				
項目	事項	内容	課題の対応	取組の進捗状況	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
		・避難行動等に必要の情報提供内容の検討及びその情報によるリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信及び連絡網の整備	E1、E2、E3、E4、G1、G2、G3、G6	実施中 ※一部機関は実施済み	・農地所有者や企業等への水位等情報連絡網の整備 ・想定最大規模降雨による洪水を踏まえた情報提供内容の検討	2016年度から順次実施	企業に対し災害情報配信サービスについてチラシ等配布による啓発を行う。 二線堤北側農地の要連絡者に大洲市災害情報メール配信サービスの登録促進 自主防災活動などの機会にチラシ等配布による啓発を実施	【内容】 防災行政無線を聞くことのできるスマートフォンアプリ導入案内を含め引き続き啓発を行う。 【時期】 毎年実施												
		・避難勧告に着目した防災行動計画(タイムライン)の作成及び関係機関の連携状況等を踏まえた精度向上及び訓練の実施 ・毎年、出水期前に協議会において、市町等関係機関と水害対応タイムラインを確認 ・土砂災害における警戒避難体制を強化し、住民の避難に資するため、土砂災害に関する行動計画作成の取り組みを支援するとともに、防災訓練を実施	C1、C8、C9、C10、C11、C12、C13	実施中	・タイムラインの作成(2016.3) ・タイムラインによる訓練の実施 ・住民参加によるタイムラインの作成と防災訓練の実施	2016年度から実施	【直轄区間】 ・直轄区間はタイムライン作成済み。 ・台風の接近等に合わせたタイムラインによる行動確認を実施 ・国交省とタイムライン詳細版案を元に机上訓練を実施(2017.12.1) ・流域対応タイムラインの暫定版の作成と運用の開始。(2019.9～)	【内容】 作成した流域対応タイムラインについて机上訓練を実施予定。 【時期】 訓練は毎年実施	・中山川については、避難勧告等の判断伝達マニュアルの改訂を踏まえて検討するほか、中予地方局建設部が設置する大規模氾濫減災対策協議会での取り組みも踏まえ、継続して検討する	2021年度まで	【内容】 中予地方局大規模氾濫減災対策協議会での取り組みを踏まえ、継続して検討 【時期】	・野村の下流域においては、復興計画の策定過程において、住民も巻き込んでタイムラインを作成するとともに、防災訓練を実施する	2018年度から検討実施	関係機関の他、住民代表として地元の防災士、消防団員にも加わっていた。ただ、タイムラインの策定に向けワークショップを実施し、タイムラインを策定。策定したタイムラインを住民に対し説明を実施。昨年6月29日から7月4日にかけての大雨対応についてタイムラインと照らし合わせた振り返りを実施	【内容】 ・2020年度出水期までに避難訓練(今年度は通信伝達訓練)を実施予定 【時期】 2020年度	・中予地方局建設部が設置する大規模氾濫減災対策協議会での取り組みも踏まえたうえで住民避難計画の策定を検討する ・水位計が付いたあとには、タイムラインの作成に努める	2021年度まで	避難勧告等の判断・伝達マニュアルを策定済	【内容】 マニュアルは国のガイドライン見直しや台風対応等の課題を踏まえ随時改正していく 【時期】	
		・計画規模降雨を超える洪水を対象としたタイムラインの作成及び訓練の実施	C2	実施中 ※一部機関は実施済み	・計画規模降雨を超える洪水を対象とした新たなタイムラインの作成	2016年度から検討実施	・流域対応タイムラインの暫定版の作成と運用の開始。(2019.9～)	【内容】 作成した流域対応タイムラインについて机上訓練を実施予定。 【時期】 2020年度までに検討					・計画規模降雨を超える洪水を対象とした新たなタイムラインの作成	2016年度から検討実施	・関係機関の他、住民代表として地元の防災士、消防団員にも加わっていた。ただ、タイムラインを策定 ・説明会を実施	【内容】 ・策定したタイムラインを基に避難訓練(今年度は通信伝達訓練)を実施予定 【時期】 2020年度				

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整				
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	
				・計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討	2016年度から検討実施	検討中	必要に応じて施設強化を検討									・計画規模降雨を超える洪水において、樋門等を活用した早期排水を行うため、浸水等による樋門等の機能停止を回避するための施設強化の検討及び排水機場の整備の検討	2016年度から検討実施	検討中	【内容】 樋門の施設強化については、順次検討を実施予定 排水機場の整備については、堤防整備の進捗を考慮しつつ検討を実施予定 【時期】 樋門の施設強化は2023年度までに検討	
																・フラップ化等の無動力化(国)を優先的に整備する対象施設を抽出し、順次整備を実施。 ・国管理区間においては、市町村以外で操作委託が可能な団体について検討を実施	2017年度から検討実施	・八多浪排水樋門、山本排水樋門のフラップ化の設計(2018年度済み)	【内容】 ・阿寄川樋門、オツ谷樋門のフラップ化の設計 ・4樋門(八多浪、山本、阿寄川、オツ谷)のフラップ化の工事 【時期】 2020年度実施予定	
																サイレン・スピーカー等の設備の改良	2018年度から検討実施	サイレン・スピーカーの改良を2020.2に完了。 異常洪水時防災操作時のサイレン吹鳴パターンも変更(通常:60秒吹鳴10秒休止(5回×1セット)、異常洪水時防災操作時:10秒吹鳴5秒休止(15回×2セット))	【内容】 住民への周知を行うとともに、適切な運用を図る。	
				・2018年の緊急点検を踏まえ、県管理区間の樹木・堆積土砂の撤去事業を実施し、樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消 ・関係者が連携して、対策後における継続的な維持管理が可能な体制を構築	2020年度までに実施 2019年度から検討実施	・2018年度までに実施 ・2019年度から検討実施	・2018年度までに実施 ・2019年度から検討実施									・2018年の緊急点検を踏まえ、氾濫・矢落川の直轄区間のうち、氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消	2020年度までに実施	・氾濫で樹木伐採、堆積土砂の除去を実施(2018～2019年度)	【内容】 引き続き実施 【時期】 2020年度までに実施	
				・上大谷川において土砂・流木捕捉効果の高い透過型砂防堰堤等を整備	2020年度までに実施	・上大谷川砂防堰堤整備中	・上大谷川2020年度完成予定													

				・アラームメール(えひめ河川メール)の利用登録者の増加	2016年度から順次実施	各種説明会等において、チラシの配布や説明を実施	引き続き実施									・プッシュ型情報の発信 ・ライブ映像面の拡大 ・想定最大規模降雨による洪水を踏まえた情報提供内容の検討	2016年度から順次実施	・緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を9/5より開始。(2016.9.5) ・CATVと連携してコラボチャンネルを配信(2020.2.25～)	
・県と協力タイムラインの作成	2017年度から検討実施	タイムライン作成済み	【内容】 ・県と連携したタイムラインを元に訓練の実施。 【時期】 ・2020年度以降	・国、市と協力タイムラインの作成及び内容精査を支援 ・毎年、出水期前に協議会において、市町等関係機関と水害対応タイムラインを確認する	2016年度から実施 2019年度から実施	2019年5月 内子町と小田川タイムラインを作成 2019年5月 大洲市とタイムライン(菅田大川地区及び氾濫中央・正山地区)を作成 2019年5月 西予市とタイムラインを作成	【内容】 内子町、大洲市、西予市及び関係機関とタイムラインを作成 【時期】 2019年度	・関係機関が作成した、または作成するタイムラインによる訓練に参加する。	随時	・国土交通省とタイムライン詳細版の作成。 ・上記のタイムライン詳細版を元に机上訓練を実施。(2019.2.25) ・県主催「水防担当者会議及び土砂災害防止月間講習会」に出席(2019.6.12) 【西予警察署】 ・H31年度野村ダム放流警報周知会に出席(2019.4.17) ・土砂災害危険箇所パトロール参加(2019.6.14～17) 【大洲警察署】 ・H31年度鹿野川ダム放流警報周知会に出席(2019.4.17) ・土砂災害危険箇所パトロール参加(2019.6.3～5)	関係機関の訓練に積極的に参加し、発災時の警察職員の対応能力及び管内住民の自助・共助意識の向上を図る。	随時	・2019年度から実施	・流域対応タイムラインの暫定版の作成と運用の開始。(2019.9～)	・引き続き検討し、随時改良を行う。	・タイムラインは作成済み(2016.3) ・避難勧告に着目した防災行動計画(タイムライン)の作成及び関係機関の連携状況等を踏まえた精度向上及び訓練の実施 ・毎年、出水期前に協議会において、市町等関係機関と水害対応タイムラインを確認する	2016年度から実施 ・2019年度から実施	・警察とタイムライン詳細版の作成。 ・上記のタイムライン詳細版を元に机上訓練を実施。(2019.2.25) ・流域対応タイムラインの暫定版の作成と運用の開始。(2019.9～)	【内容】 ・作成した流域対応タイムラインについて机上訓練を実施予定。 【時期】 訓練は毎年実施
・県と協力タイムラインの作成	2016年度から検討実施	タイムライン作成済み	【内容】 ・県と連携したタイムラインを元に訓練の実施。 【時期】 ・2020年度以降	・国、市と協力タイムラインの作成及び内容精査を支援	2016年度から検討実施	タイムライン策定検討会に参加し、支援を実施。	実施済	・関係機関が作成した、または作成するタイムラインによる訓練に参加する。	随時	【西予警察署】 ・西予市のタイムライン(防災行動計画)策定にかかるワークショップに参加(2019.4.5、5.8、5.22、2020.1.28) ・氾濫流域緊急タイムライン策定部会に参加(2019.8.1、2020.1.31) 【大洲警察署】 ・大洲河川事務所で行われた洪水時のタイムラインに関する検討会に参加(2019.3.25) ・大洲市のタイムライン(防災行動計画)策定にかかるワークショップに参加(2019.5.13、2019.5.27)	関係機関の訓練に積極的に参加し、発災時の警察職員の対応能力及び管内住民の自助・共助意識の向上を図る。	随時			・計画規模降雨を超える洪水を対象としたタイムラインの作成及び訓練の実施	2016年度から検討実施	・計画規模降雨を超える洪水に関する基礎資料の検討を実施(2018年度) ・流域対応タイムラインの暫定版の作成と運用の開始。(2019.9～)	【内容】 ・作成した流域対応タイムラインについて机上訓練を実施予定。 【時期】 2020年度までに検討	

○肱川の減災に係る取組方針

概ね5年で実施する取組の実施状況及び今後の予定

項目	事項	内容	課題の対応	取組の進捗状況	大洲市				伊予市				西予市				砥部町						
					実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定			
		・ダム放流量に応じた浸水想定区域の検討を行い、作成された浸水想定区域に基づき、各種計画の策定・見直しを行う	A3、A5、B2、C3、C4、C14、E11、G13	実施中	・作成された浸水想定区域図を基に、避難情報発令基準の作成・見直しを行う ・ダム情報を反映したタイムラインの策定	2018年度から検討実施	ダム放流量に応じた浸水想定区域の情報提供を国及び県に求める。	【内容】引き続き要請					・作成された浸水想定区域図を基に、避難情報発令基準の作成・見直しを行う。 ・ダム情報を反映したタイムラインの策定を行う(地域住民、大学等の参加による避難経路、避難場所等の設定もパッケージで検討)	2018年度から検討実施	・ダム放流量に応じた避難情報の発令基準の見直しを実施 ・ダム情報を反映してタイムラインの策定に向け、ワークショップを実施	【内容】継続的に各種計画の策定・見直しを実施 【時期】2020年度							
		・計画規模降雨を超える洪水も対象とした近隣市町との広域避難に関する調整、避難経路の検討。 ・必要となる避難場所、避難路の整備にあたっては、公共工事等の発生土砂を有効活用するなど、連携による効率的な整備を実施	D1、D2	実施中	・近隣市町との広域避難に関する調整、避難経路の検討 ・必要となる避難場所、避難路の整備にあたっては、公共工事等の発生土砂を有効活用するなど、連携による効率的な整備を実施	2016年度から検討実施		【内容】広域避難に対する調整、避難経路の検討 【時期】2020年度以降			検討中		・近隣市町との広域避難に関する調整・検討	2017年度から検討実施	検討中	【内容】近隣市町との広域避難に関する調整・検討 【時期】随時		・近隣市町との広域避難に関する調整・検討	2020年度まで	検討中	【内容】継続して検討 【時期】		
		・計画規模降雨を超える洪水も対象とした、土砂災害警戒区域や地すべり危険箇所を踏まえた浸水地区の避難所、避難経路等の検討	D1、D2、D7、D8、D4、F1	実施中	・計画規模降雨を超える洪水も対象とした、土砂災害警戒区域や地すべり危険箇所を踏まえた浸水地区の避難所、避難経路等の検討	2016年度から検討実施	土砂災害のリスクを知っていただくため、土砂災害(特別)警戒区域などを記した土砂災害表示板を各所に設置	【内容】避難所、避難経路の検討 【時期】2020年度以降					・計画規模降雨を超える洪水も対象とした、土砂災害警戒区域や地すべり危険箇所を踏まえた浸水地区の避難所、避難経路等の検討	2016年度から検討実施	検討中	【内容】引き続き検討を実施。 【時期】未定		・計画規模降雨を超える洪水も対象とした、土砂災害警戒区域や地すべり危険箇所を踏まえた浸水地区の避難所、避難経路等の検討	2018年度から検討実施				
		・洪水予報文・水位到達情報文の改良	B1	実施中 ※一部機関は実施済み																			
		・国管理区間・県管理区間について、想定最大規模降雨に対応した洪水浸水想定区域図について公表に合わせ、浸水ナビに順次実装	—	実施済み																			
		・想定最大規模降雨による洪水も含めた浸水想定区域の指定及び浸水シミュレーション、家屋倒壊等危険想定区域の公表	A1、E4	実施済み																			
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域の指定及び浸水シミュレーション、家屋倒壊等危険想定区域の公表対象河川の検討を実施	A2、A7、A8	実施中 ※一部機関は実施済み	・指定区間における想定最大規模降雨による洪水浸水想定に対するリスク情報の周知等を含めた避難体制の強化への取組方針について県との協議を実施	2016年度から検討実施	想定最大規模降雨による浸水想定を載せたハザードマップ(大洲市防災読本)を作成。2019年5月末配布	【内容】WEB版ハザードマップの構築 リスク情報の周知等を含めた避難体制強化について協議実施 【時期】2020年度					・中予地方局建設部で設置される協議会での協議を踏まえて検討する	2021年度まで		・作成・周知済み	2017実施	・作成・周知済み		・中予地方局建設部で設置される協議会での協議を踏まえて検討する	2021年度まで		【内容】中予地方局大規模氾濫減災対策協議会での取り組みを踏まえ、継続して検討 【時期】
		・2018年の緊急点検を踏まえ、土砂災害警戒区域指定の前提となる基礎調査を完了	—	実施済み																			
		・協議会等の場を活用して、ハザードマップの作成状況等の重要インフラ緊急点検結果について、市町村に共有 ・ハザードマップ(統合型防災マップ)の改良・周知 ・協議会の場等を活用して、水害ハザードマップの作成、周知及び訓練等への活用に関する優良事例を収集して、適宜、「水害ハザードマップ作成の手引き」を充実し、市町に提供	A1、A2、D3、D4、F1	実施中 ※一部機関は実施済み	・想定最大規模降雨による洪水想定区域も踏まえたハザードマップ(統合型防災マップ)の改良・周知 ・また、国および県からの最新の浸水区域図等データによりハザードマップ(統合型防災マップ)の作成・配布	2016年度から順次実施	想定最大規模降雨による浸水想定を載せたハザードマップ(大洲市防災読本)を作成し住民へ配布。(2019年5月末)	【内容】WEB上でハザードマップを確認できるWEB版ハザードマップを構築 【時期】2020年度					・浸水想定区域の改訂がなされた段階で、市ホームページや防災啓発活動などを通じて周知を図る。 ・令和3年度に総合防災マップを更新予定。	2021年度まで	【内容】継続して検討 【時期】	・作成・周知済み ・国および県からの最新の浸水区域図等データによりハザードマップの改良・周知・配布済み	2017実施	・作成・周知済み ・国および県からの最新の浸水区域図等データによりハザードマップの改良・周知・配布済み	【内容】野村地区に改良したハザードマップを配付済み 【時期】2019年度実施済み	・ハザードマップ(統合型防災マップ)の改良・周知	2017年度改訂	2018年3月に新しい防災マップを作成	【内容】全戸配布及びHPで公表予定 【時期】2018年5月

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整			
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
				・ダム放流量に応じた浸水想定区域の検討。 ・周知方法や防災教育について再度見直し	2018年度 から検討実施	検討中	引き続き検討									・浸水想定区域周知方法等について、再度見直しを行う ・ダム放流量と浸水状況の関係整理(国管理区間)	2018年度 から検討実施	2019出水期までにダム放流量(2,500m ³ /s、3,000m ³ /s)に基づく浸水想定区域図を大洲市に提供。 ※大洲市は藍川地区をダム放流量に基づき避難判断基準を作成	
・近隣市町との広域避難に関する調整・検討	2017年度 から検討実施	検討中	【内容】 ・関係機関と協議。 【時期】 ・2020年度以降	・大洲市が近隣市町との広域避難を検討する場合に八幡浜支局においても調整を支援 ・必要となる避難場所、避難路の整備にあたっては、公共工事等の発生土砂の提供を検討	2016年度 から検討実施		広域避難の検討を支援									・必要となる避難場所、避難路の整備にあたっては、公共工事等の発生土砂を有効活用するなど、連携による効率的な整備を実施	2018年度 より検討実施	必要に応じて検討する	公共河川工事等の発生土砂を有効活用するなどの支援を予定
・計画規模降雨を超える洪水も対象とした、土砂災害警戒区域や地すべり危険箇所を踏まえた浸水地区の避難所、避難経路等の検討	2018年度 から検討実施	検討中	【内容】 ・関係機関と協議。 【時期】 ・2020年度以降	・計画規模降雨を超える洪水も対象とした、土砂災害警戒区域や地すべり危険箇所を踏まえた浸水地区の避難所、避難経路等の検討にかかる支援	2016年度 から検討実施	検討中	引き続き検討									・計画規模降雨を超える洪水も対象とした、土砂災害警戒区域や地すべり危険箇所を踏まえた浸水地区の避難所、避難経路等の検討にかかる支援	2016年度 から検討実施	・計画規模降雨を超える洪水に関する基礎資料の検討を実施(2018年度)	【内容】 ・計画規模降雨を超える洪水を対象とした避難計画に資する資料を必要に応じて実施 【時期】 必要に応じて実施
				水位到達情報文の改良	2016年度 から検討実施	2018年改良済	実施済					・洪水予報文の改良	H28年度～ R01.5.29～	・H28.11月にシステムの改良済み。 ・H29.6月に想定最大規模での浸水区域として対象となる地区名まで表示 ・洪水予報文への警戒レベル追加	引き続き検討し、随時改良を行う。 洪水予報発表時に実施	・氾濫が発生した場合の浸水区域として対象となる地区名まで表示した洪水予報文の改良	2016年度	・洪水予報文の改良を実施	【内容】 ・継続的に改良を実施 【時期】 毎年度見直しを実施
				・想定最大規模降雨に対応した洪水浸水想定区域図について公表に合わせ、浸水ナビに順次実装	2019年度 から検討実施	2019年度実施	実施済									・想定最大規模降雨に対応した洪水浸水想定区域図について公表に合わせ、浸水ナビに順次実装	2019年度 から検討実施	国管理区間は浸水ナビに実装済	
				・想定最大規模降雨による洪水も含めた浸水想定区域図及び浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	2016年5月		【時期】 2019年5月17日に公表済み									・想定最大規模降雨による洪水も含めた浸水想定区域図及び浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	2016年度	・2016年5月30日に直轄区間を公表 ・藍川(大洲市県管理区間)の浸水想定区域図及び浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成支援(2017)	
・指定区間における想定最大規模降雨による洪水浸水想定に対するリスク情報の周知等を含めた避難体制の強化への取組方針について県との協議を実施	2016年度 から検討実施	想定最大規模降雨による浸水想定を載せたハザードマップを作成。2019年6月配布	【内容】 ・マップ情報の周知 【時期】 2020年度以降	・指定区間における想定最大規模降雨による洪水浸水想定に対するリスク情報の周知等を含めた避難体制の強化への取組方針について大洲市、内子町との協議を実施	2016年度 から検討実施		【時期】 2019年5月17日に公表済み									・藍川(大洲市県管理区間)については、2018年度に、浸水想定区域図を作成し、大洲市に提供済。 ・小田川(内子町知清～宿間)については、2017年度に、浸水想定区域図等を作成し、内子町に提供済。 ・藍川(宇和地区)については、2016年度に、浸水想定区域図等を作成し、西予市に提供済。 ・藍川(野村地区)については、2018年度に、浸水想定区域図等を作成開始。			
				・2018年の緊急点検を踏まえ、土砂災害警戒区域指定の前提となる基礎調査を完了	2019年度 までに実施	実施中	2019年度完了												
・浸水想定区域が設定された段階で、町ホームページや自主防災組織等への周知を図ると共に、防災マップへの反映についても検討する	2017年度 から検討実施	想定最大規模降雨による浸水想定を載せたハザードマップを作成。2019年6月配布	【内容】 ・マップ情報の周知 【時期】 2020年度以降	・指定区間における想定最大規模降雨による洪水浸水想定に対するリスク情報の周知等を含めた避難体制の強化への取組方針について国、大洲市との協議を実施 ・協議会等の場を活用して、ハザードマップの作成状況等の重要インフラ緊急点検結果について、市町村に共有 ・協議会の場等を活用して、水害ハザードマップの作成、周知及び訓練等への活用に関する優良事例を収集して、適宜、「水害ハザードマップ作成の手引き」を充実し、市町に提供	2016年度 から検討実施 2019年度 に実施 2019年度 に実施		【時期】 2019年5月17日に公表済み									・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域も踏まえたハザードマップ(統合型防災マップ)の改良に関する支援 ・協議会等の場を活用して、ハザードマップの作成状況等の重要インフラ緊急点検結果について、市町村に共有 ・協議会の場等を活用して、水害ハザードマップの作成、周知及び訓練等への活用に関する優良事例を収集して、適宜、「水害ハザードマップ作成の手引き」を充実し、市町に提供	2016年度 から順次実施 2019年度 に実施 2019年度 に実施	・2016年5月30日に公表した浸水想定区域図等を提供 ・藍川流域(国、県管理区間)における浸水想定区域図についての説明資料を第10回協議会で情報提供	【内容】 水害ハザードマップの作成、周知及び訓練等への活用に関する有用事例があれば、情報を提供する 【時期】 毎年実施

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整			
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
-2018年の緊急点検を踏まえ、土砂災害ハザードマップの改訂版を作成	2020年度までに実施	土砂災害危険箇所等を掲載したマップを更新・作成し、住民へ配布。(2020年4月末)	【内容】 適宜更新を行い、町HPで公開する。 【時期】 2020年度以降																
				-公表及び掲載用データの整備が完了した県管理区間浸水想定区域(想定最大規模)、内水浸水想定区域等をハザードマップポータルサイトに掲載	2019年度から検討実施		-浸水想定区域図を提供	提供済											
				内閣府のモデル事業として、三善地区において、「災害・避難カード」への取組を実施	2016年度		第1回WS開催(2016.8.28) 第2回WS開催(2016.11.20) 第3回WS開催(2017.1.29)					内閣府のモデル事業として、三善地区において、「災害・避難カード」作成への協力を実施	2016年度	第1回WS開催(2016.8.28)			内閣府のモデル事業として、三善地区において、「災害・避難カード」への取組を実施	2016年度	第1回WS開催(2016.8.28) 第2回WS開催(2016.8.28) 第3回WS開催(2016.11.20) 第3回WS開催(2017.1.29)
-情報伝達手段の多重化を検討及び地域に合った有用な伝達手段の選定	2018年度から検討実施	登録制メール配信システム構築	【内容】 登録制メール配信システム整備済 【時期】																
-洪水・土砂災害における情報伝達の統合表示方法、住民の避難や安全確保への協力体制、避難所までの経路、早期避難体制等、検証結果に応じた対策を実施	2018年度から検討実施	検討中	【内容】 関係機関と協議 【時期】 2020年度以降	-洪水・土砂災害における情報の統合表示方法、住民の避難や安全確保への協力体制、避難所までの経路、早期避難体制等、検証結果に応じた対策への支援	2018年度から検討実施	検討中	引き続き検討					-洪水・土砂災害における情報の統合表示方法、住民の避難や安全確保への協力体制、避難所までの経路、早期避難体制等、検証結果に応じた対策への支援	2018年度から検討実施			-弘川(直轄管理区間)に関する防災ポータル(一級向け)を協議会で情報共有 -弘川流域(国、県管理区間)における浸水想定区域図についての説明資料を協議会で情報提供	2018年度から検討実施		引き続き実施
				-スネークラインの公表等の土砂災害警戒情報を補足する情報に関する先進的な取組事例を協議会等の場を通じて共有 -既存システムの改修に合わせ、順次スネークラインの公表等を実施	2019年度から検討実施	調整中	-土砂災害警戒情報の精度向上 -緊急連絡メール等による土砂災害警戒情報の配信					-スネークラインの公表等の土砂災害警戒情報を補足する情報に関する先進的な取組事例を協議会等の場を通じて都道府県に共有	2019年度から検討実施	検討中		【内容】 先進的な事例があれば、情報を提供する 【時期】 毎年実施			
				-河川の基準水位等とダム放流量との関係整理	2018年度から検討実施	検討中	引き続き検討					-河川の基準水位等とダム放流量との関係整理	2018年度から検討実施	2019出水期までにダム放流量(2,500m ³ /s、3,000m ³ /s)に基づく浸水想定区域図を大洲市に提供 ※大洲市は弘川地区をダム放流量に基づき避難判断基準を作成	【内容】 住民周知に向けて、大洲市と連携して、避難訓練等を実施予定。 【時期】 令和2年秋頃				
												-ダム予測情報等のメール送付 -ダムの放流通知内容への治水容量貯水率や下流河川へ与える影響の追加	2018年度から検討実施	-大洲市にダム予測情報を定期的にメール送付する体制構築済み。 -ダム放流通知FAXに治水容量貯水率、下流河川影響を加えて送付。	【内容】 FAX通知について関係者の意見を踏まえ、必要に応じて改良を実施。 【時期】 令和2年度				
												-異常洪水時防災操作時のサイレン吹鳴回数、アナウンス・定型文の見直し -ダムに関する情報等のユニバーサルデザイン化(危険度レベルの表示) -ダム放流量などの情報をスピーカ・電光表示板へ表示 -地元ケーブルテレビを活用したダム放流等の情報提供の充実 -防災行政無線・テレビロップ・エリアメール等を活用したダム放流等の情報提供 -市WEBへのダム関係諸量データの表示	2018年度から検討実施	-サイレン吹鳴回数(通常:60秒吹鳴10秒休止(5回×1セット)、異常洪水時防災操作時:10秒吹鳴5秒休止(15回×2セット)、アナウンス文見直し済み -ユニバーサルデザイン(ダム放流量に応じて4色表示)、電光掲示板改良を2020.2完了。 -地元ケーブルテレビと情報提供内容について調整中。	【内容】 関係者・住民周知に向けて説明会・訓練実施。 【時期】 令和2年度 【内容】 地元ケーブルテレビとダム放流情報の提供に向けたコンテンツの構築。 【時期】 平成32年度出水期まで				
-水位周知河川に指定されていない弘川流域の県管理区間も含め、洪水時に直接市町長等へ河川情報を伝える「ホットライン」構築の検討	2019年出水期まで	ホットラインの構築	【内容】 出水期前に協議会において連絡体制を確認 【時期】 毎年出水期前	-水位周知河川に指定されていない弘川流域の県管理区間も含め、洪水時に直接市町長等へ河川情報を伝える「ホットライン」構築の検討 -毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認	2019年出水期まで	小田川(内子町知済～宿間)において、内子町と構築済 -弘川(宇和川及び野村地区)において、西予市と構築済。 -弘川(菅田地区)において、大洲市と構築済 -水位到達情報等の伝達訓練時にホットラインによる伝達訓練も追加し、実施	実施済					-洪水時に直接市町長等へ河川情報を伝える「ホットライン」を構築し、毎年、出水期前に協議会において連絡体制を確認 -ホットライン時にTV電話(タブレット)等を活用するなど、ホットラインの強化を検討	毎年出水期までに実施 2018年度から検討実施	-大洲市とのホットライン構築については合意済。 -洪水対応演習にて大洲市とTV電話(タブレット)によるホットライン訓練を実施(2019.4.23)	【内容】 出水期前に協議会において連絡体制を確認 【時期】 毎年出水期前				
				-大雨等により甚大な被害が予想される場合には市町へリエゾンを派遣して情報共有を行うとともに、TV会議システム等を活用した気象情報の提供や解説などを行う。	2018年度から実施	実施済						-大雨が予想される場合に市へリエゾンを派遣し、提供情報を解説する。	2018年度から検討実施	-リエゾン派遣による避難指示等の判断支援を実施	引き続き実施				
-必要な情報を再確認し、連絡網を作成して情報共有を図る。尚、取り扱う情報の精度を確認する。	2018年度から検討実施	-洪水対応演習において、情報伝達訓練を実施(2019.4.23)	引き続き実施	-必要な情報を再確認し、連絡網を作成して情報共有を図る。尚、取り扱う情報の精度を確認する。	2018年度から検討実施	-洪水対応演習において、情報伝達訓練を実施(2019.4.23)	引き続き実施					-必要な情報を再確認し、連絡網を作成して情報共有を図る。尚、取り扱う情報の精度を確認する。	2018年度から検討実施	-洪水対応演習において、情報伝達訓練を実施(2019.4.23)	引き続き実施	-河川の水位予測とダム放流予測について、情報提供する連絡網を作成し、作成した連絡網に予測資料を送付し情報共有	2018年度から検討実施		引き続き実施

○肱川の減災に係る取組方針

概ね5年で実施する取組の実施状況及び今後の予定

項目	事項	内容	課題の対応	取組の進捗状況	大洲市				伊予市				西予市				砥部町				
					実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	
		<p>県管理区間については、指定予定の洪水予報河川、水位周知河川について検討・調整を実施し、「取組方針」によりまとめ、市町村の役場等に係る河川の未指定の河川において簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報を提供。</p> <p>・毎年、協議会において、水害危険性の周知の実施状況を確認。</p>	A2、A9、C1、D5、D6、G2、G7、G8、G9	※一部機関は実施済み	<p>・県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討</p>	2021年度を目途	<p>県管理河川部分の水位周知河川化に伴い、避難判断水位等に基づく避難情報発令基準を創設し、住民に対し周知を実施</p>	<p>【内容】 避難判断水位や浸水想定等を住民に対し周知 【時期】 2020年度</p>	<p>・中山川については、避難勧告等の判断・伝達マニュアルの改訂や水位情報板の更新、中予地方局建設部が設置する大規模氾濫減災対策協議会での取り組みを踏まえ、継続して検討</p>	2021年度まで			<p>【内容】 中予地方局大規模氾濫減災対策協議会での取り組みを踏まえ、継続して検討 【時期】 2019年度</p>	<p>・県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討</p>	2021年度を目途	検討中	<p>【内容】 住民への周知内容や方法を検討 【時期】 2019年度</p>	<p>・県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討</p>	2021年度を目途		<p>【内容】 住民への周知内容や方法を検討 【時期】</p>
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																					
		<p>・避難を促す緊急行動のトップセミナーの開催及び共同点検の実施</p>	C1	実施中	<p>・国が実施するトップセミナー及び共同点検の参加</p>	2015年度から毎年実施	<p>・減災対策協議会参加(2017.5.31) ・肱川・矢落川連絡会後継重要水防箇所点検実施(2017.5.16) ・重要水防箇所の点検実施(2018.5.18)</p>	引き続き実施													
		<p>・情報発信時の「危険度の色分け」や「警戒級の現象」等の改善</p> <p>・「大雨警報(浸水害)の危険度分布」及び「洪水警報の危険度分布」の提供に係る普及啓発</p> <p>・大雨・洪水警報基準の見直し(随時)</p> <p>・ホットラインによる、効果的なタイミングでの気象解説等の検討及び実施</p>	E4、E18	実施中																	
		<p>・避難勧告等の発令に対する住民の避難行動につながる危機意識の啓発、平時からの積極的な情報収集を促すための啓発方法を検討し、効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布</p>	A4、A6、B1、E4、E11、E19、E20、G10	実施中	<p>・避難勧告等の発令に対する住民の避難行動につながる危機意識の啓発、平時からの積極的な情報収集を促すための啓発方法を検討し、効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布</p>	2018年度から検討実施	<p>・土砂災害説明会等で災害情報説明後資料を配布、説明</p> <p>・減災協議会の実施に関するニュースレターの配付(2018年3月)</p> <p>・自主防災訓練等による講習で配布、説明</p>	<p>【内容】 自主防災訓練や公民館事業を通して周知 【時期】 2020年度</p>	<p>・避難勧告等の発令に対する住民の避難行動につながる危機意識の啓発、平時からの積極的な情報収集を促すための啓発方法を検討し、効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布</p>	2018年度から検討実施	<p>・総合防災マップや水防チラシ等を活用した防災・減災啓発の実施</p>	引き続き実施	<p>・避難勧告等の発令に対する住民の避難行動につながる危機意識の啓発、平時からの積極的な情報収集を促すための啓発方法を検討し、効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布</p>	<p>・新たな浸水想定地域、防災情報を掲載した総合防災マップを作成するとともに、ハザード情報をweb上に公開。</p>	<p>【内容】 総合防災マップを活用した出前講座等、啓発活動の実施。 【時期】 年間をとおして随時。</p>	<p>・避難勧告等の発令に対する住民の避難行動につながる危機意識の啓発、平時からの積極的な情報収集を促すための啓発方法を検討し、効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布</p>	2018年度から検討実施	<p>情報を共有し連携して実施</p>	引き続き実施		
		<p>・2018年7月豪雨災害記録誌の制作および防災教育への活用</p>	E12	実施中	<p>・2018年7月豪雨災害記録誌の制作および防災教育への活用</p>	2018年度から検討実施	<p>2018年7月豪雨災害記録誌の作成(2019年度)</p>						<p>・2018年7月豪雨災害記録誌の制作および防災教育への活用</p>	2018年度から検討実施	<p>災害対応報告書作成済(2019年度) ・乙亥会館内に災害伝承室(仮称)を整備し、災害の記録の伝承及び防災教育の充実を図る</p>	<p>2020年度実施予定(新型コロナウイルスの影響で工事が滞っている) 住民向け記録誌作成予定(2020年度)</p>					
		<p>・小中学校及び自治会等における洪水被害の歴史等を踏まえた水災害教育を実施</p> <p>・防災教育に関する支援を実施する学校を決定し、指導計画の作成支援に着手。作成した指導計画を関連市町村における全ての学校に共有</p> <p>・避難確保計画作成、避難訓練及び避難訓練を通じた防災教育の実施については、協議会等による支援を行うとともに、先進的な事例については協議会等の場を活用し、共有</p>	B1、E3	実施中	<p>・課外授業等での防災センター施設見学等の利用促進について検討を実施。</p> <p>・想定最大規模降雨による洪水浸水想定に関する自治会等への説明の実施</p> <p>・防災教育に関する支援校での教育実施、指導計画等共有</p> <p>・避難確保計画作成、避難訓練及び避難訓練を通じた防災教育の実施については、協議会等による支援を行うとともに、先進的な事例については協議会等の場を活用し、共有</p>	2016年度 2017年度(防災教育支援校関係)	<p>・若宮地域自主防災組織の取組(2016.7.30日)</p> <p>・「新町駅前どか市」でのパネル展等実施(2016.10.16)</p> <p>・防災力向上キャンプにおいて、家族及び自主防災組織に水災害教育を実施。(2017.1.7)</p> <p>・大洲市自主防災組織会議にて想定最大浸水想定(2017.5.30)</p> <p>・防災教育について、菅田小学校と打ち合わせを実施(2017.10.30)</p> <p>・菅田小学校において防災教育を実施(2018.5)</p>	<p>【内容】 国による水防災教育に対する協力 【時期】 2020年度</p>	<p>・指導計画作成支援 ・指導計画の共有</p>	<p>【内容】 国による水防災教育に資する資料作成への協力 【時期】 2019年度</p>	<p>・指導計画作成支援 ・指導計画の共有</p>	<p>・避難確保計画作成、避難訓練及び避難訓練を通じた防災教育の実施については、協議会等による支援を行うとともに、先進的な事例については協議会等の場を活用し、共有</p>	<p>2017年度から検討実施 指導計画の作成支援→2017年度指導計画を全ての小学校に共有→2018年度末 2019年度から実施</p>	<p>指導計画の作成支援→2017年度指導計画を全ての小学校に共有→2018年度末 2019年度から実施</p>	<p>教職員が参加する協議会で防災講習を実施(2019年2月)</p>	<p>【内容】 国による水防災教育に資する資料作成への協力 【時期】 2017年度</p>					
		<p>・関係機関が連携して実施する、自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練について、実施状況や様々な工夫、今後の予定を協議会等の場で共有</p>	—	実施中	<p>・関係機関が連携して実施する、自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練について、実施状況や様々な工夫、今後の予定を協議会等の場で共有</p>	2019年度から検討実施	検討中	<p>【内容】 情報の共有を図る 【時期】 2020年度</p>	<p>・関係機関が連携して実施する、自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練について、実施状況や様々な工夫、今後の予定を協議会等の場で共有</p>	2019年度から検討実施	検討中	<p>2019年度以降</p>	<p>・関係機関が連携して実施する、自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練について、実施状況や様々な工夫、今後の予定を協議会等の場で共有</p>	2019年度から検討実施	検討中	<p>2020年度実施予定</p>	<p>・関係機関が連携して実施する、自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練について、実施状況や様々な工夫、今後の予定を協議会等の場で共有</p>	2019年度から検討実施	検討中	<p>2019年度実施予定</p>	
		<p>・地域防災力向上のモデル地区を選定し、地域に精通し水害・土砂災害リスク等に関する豊富な知見を有する専門家による支援方法について検討</p>	—	実施中																	

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整				
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	
現在未指定の小田川について、指定以降は県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討	2021年度を目途	小田川(内子町知清～宿間)について、浸水想定区域図を作成済み	県から情報提供を受けた内容について、住民への周知内容や方法を検討	県管理区間については、 ・指定予定の洪水予報河川、水位周知河川について、水位周知河川に指定済 ・肱川(大洲土木管理区間)について、水位周知河川に指定済 ・小田川(内子町知清～宿間)について、水位周知河川に指定済 ・肱川(野村地区)について、水位周知河川に指定済 ・水位周知河川や市町の役場等に係る河川の内、必要と思われる河川において、簡易な方法も活用して浸水想定及び河川水位等の情報の提供方法等を検討。	2017年度から検討	・小田川(内子町知清～宿間)について、水位周知河川に指定済 ・肱川(大洲土木管理区間)について、水位周知河川に指定済 ・小田川(内子町知清～宿間)について、水位周知河川に指定済 ・肱川(野村地区)について、水位周知河川に指定済 ・水位計設置済	実施済													
				・水防連絡協議会等において関係者に避難活動の充実を図る啓発を実施 ・関係者で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施 2016年5月実施	・減災対策協議会実施	引き続き実施											・毎年出水期までに首長以下関係者で、避難を促す緊急行動のトップセミナーの開催及び共同点検の実施。また、重要水防箇所等の点検を実施。	2015年度から毎年実施 ・減災対策協議会実施(2018.5.23、2019.1.15、2019.5.31) ・肱川・矢落川連絡会後重要水防箇所点検を実施(2018.5.18、2019.5.20)	引き続き実施
												・情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善 ・「大雨警報(浸水害)の危険度分布」及び「洪水警報の危険度分布」の提供 ・大雨・洪水警報基準の見直し(随時) ・ホットラインによる、効果的なタイミングでの気象解説等の検討及び実施	2017.5.17 13時より提供開始 2017.7.4 13時より提供開始 2017.7.4 13時より提供開始 2019年以前より実施	情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(2017.5.17) 「大雨警報(浸水害)の危険度分布」及び「洪水警報の危険度分布」の提供(2017.7.4) 大雨・洪水警報の改善(2017.7.7) 市町へ気象に関する情報をホットラインで提供	【内容】 大雨・洪水警報基準の見直し 【時期】 随時見直しを実施 引き続き実施					
・避難勧告等の発令に対する住民の避難行動につながる危機意識の啓発、平時からの積極的な情報収集を促すための啓発方法を検討し、効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	2018年度から検討実施	小田川洪水ハザードマップを対象地域へ配布	【内容】 情報入手の都度、広報紙などによる周知方法を検討 【時期】 随時実施	・避難勧告等の発令に対する住民の避難行動につながる危機意識の啓発、平時からの積極的な情報収集を促すための啓発方法を検討し、効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	2018年度から検討実施	各種説明会等において、チラシの配布や説明を実施	引き続き実施											・避難勧告等の発令に対する住民の避難行動につながる危機意識の啓発、平時からの積極的な情報収集を促すための啓発方法を検討し、効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布 ・肱川(直轄管理区間)に関する防災サイトを集約した肱川防災ポータル(一般向け)を協議会で情報共有	2018年度から検討実施 【内容】 必要に応じて実施 【時期】 適宜	
				・2018年7月豪雨災害記録誌の制作および防災教育への活用	2018年度から検討実施													・2018年7月豪雨災害記録誌の制作および防災教育への活用	2018年度から検討実施 2018年7月豪雨災害記録誌(原案作成)	—
・指導計画作成支援 ・指導計画の共有 ・避難確保計画作成、避難訓練及び避難訓練を通じた防災教育の実施については、協議会等による支援を行うとともに、先進的な事例については協議会等の場を活用し、共有	2017年度から検討実施 指導計画の作成支援→2017年度指導計画を全ての小学校に共有→2018年度末 2019年度から実施	高年齢者教室等で水害に関する説明 ・内子町防災教育推進連絡会にて過去の水害について周知	【内容】 国による水防災教育に資する資料作成への協力 【時期】 2020年度以降	・要請に応じ、水災害教育を実施 ・避難確保計画作成、避難訓練及び避難訓練を通じた防災教育の実施については、協議会等による支援を行うとともに、先進的な事例については協議会等の場を活用し、共有	引き続き実施 指導計画の作成支援→2017年度指導計画を全ての小学校に共有→2018年度末 2019年度から実施	防災教育及び出前講座の申込受付	【内容】 防災教育及び出前講座の申込受付 【時期】 引き続き実施					・水災害広報の充実として出水があった場合、ニュースレターを発行 ・水防工法の実物展示等による広報の充実 ・想定最大規模降雨による洪水浸水想定を正しく理解するための説明資料の作成 ・防災教育に関する支援を実施する学校を決定し、指導計画の作成支援に着手。作成した指導計画を関連市町村における全ての学校に共有 ・避難確保計画作成、避難訓練及び避難訓練を通じた防災教育の実施については、協議会等による支援を行うとともに、先進的な事例については協議会等の場を活用し、共有	引き続き実施 2016年度から 指導計画の作成支援→2017年度指導計画を全ての小学校に共有→2018年度末 2019年度から実施	若宮地域自主防災組織の取組(2016.7月30日) ・「新町駅前どか市」でのパネル展等実施(2016.10.16) ・防災力向上キャンペーンにおいて、家族及び自主防災組織に水災害教育を実施(2017.1.7) ・大洲市自主防災組織会議にて想定最大浸水想定説明を実施(2017.5.30) ・菅田小学校にて試行授業を実施(2018.5.9、2018.5.11、2018.5.14、2019.7.17) ・大洲市防災教育推進連絡協議会に出席し、試行授業や使用した資料を説明。(2018.11.19、2019.12.3) ・避難確保計画の作成見本を作成し、大洲市に提供(2020.3.11)	【内容】 引き続き、防災教育や避難確保計画に関する支援を実施予定。 【時期】 適宜					
・関係機関が連携して実施する、自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練について、実施状況や様々な工夫、今後の予定を協議会等の場で共有	2019年度から検討実施	検討中	今後の予定などの情報を協議会等の場で共有	・関係機関が連携して実施する、自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練について、実施状況や様々な工夫、今後の予定を協議会等の場で共有	2019年度から検討実施	検討中	引き続き検討											・関係機関が連携して実施する、自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練について、実施状況や様々な工夫、今後の予定を協議会等の場で共有	2019年度から検討実施 ・緊急速報メール配信訓練を実施(2019.7.28)	【内容】 必要に応じて訓練を実施 【時期】 適宜
				・地域防災力向上のモデル地区を選定し、地域に精通し水害・土砂災害リスク等に関する豊富な知見を有する専門家による支援方法について検討	2019年度から検討実施	検討中	引き続き検討											・地域防災力向上のモデル地区を選定し、地域に精通し水害・土砂災害リスク等に関する豊富な知見を有する専門家による支援方法について検討	2019年度から検討実施 ・自主防災組織単位で作成している地区防災計画書の作成支援を実施(2019年度:八多喜地区、平地区)	【内容】 引き続き、支援を実施 【時期】 適宜

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整				
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	
						<ul style="list-style-type: none"> (砂)七津川 砂防堤1基完成 続けて2基目用地調査中 (砂)十郎谷川 用地調査中 (急)神納地区 	<ul style="list-style-type: none"> 2019年度概成 (急)中山A地区 擁壁等整備中 (砂)南島鹿野川 砂防堤2基整備中 (砂)室面川 引き続き整備予定 (急)ツボイ地区 擁壁整備中 (急)中ノ浦地区 擁壁整備中 													
				<ul style="list-style-type: none"> 2018年の緊急点検を踏まえ、土砂災害により避難所・避難路の被災する危険性が高い7箇所(七津川、十郎谷川、神納地区、鳥鹿野川、室面川、ツボイ地区、中ノ浦地区)において、円滑な避難を確保する砂防堤の整備等の対策を概ね完了 	2020年度までに実施															
				<ul style="list-style-type: none"> 国の説明会に関係各課が参加し、関係機関等へ周知 	引き続き定期的に実施	野村ダム・鹿野川ダム 放流周知会に出席	引き続き毎年出席									<ul style="list-style-type: none"> 鹿野川ダム・野村ダム放流警報周知会の実施 河川利用者への説明 ダム操作や情報等に関する説明会との開催 報道機関との意見交換会や勉強会の実施 	2018年度から検討実施	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は野村ダム(4/14)・鹿野川ダム(4/14)放流警報周知会を実施 説明会は逐次実施中 令和元年度には報道機関との意見交換会・勉強会を定期的に実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】放流警報周知会は継続実施 説明会は内容を改善しながら継続実施 【時期】継続実施 【内容】報道機関との意見交換会 【時期】令和2年度も継続実施 	
				<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者利用施設の管理者に対して、水害への備えに関する理解を深めてもらうための説明会を実施 	2016年度	2016年12月・2018年6月実施	必要に応じて実施									<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者利用施設の管理者に対して、水害への備えに関する理解を深めてもらうための説明会を実施 	2016年度	2016年12月実施	必要に応じて実施	
小田川の浸水想定区域設定により、具体的な想定が明らかになった段階で、ホームページや防災啓発活動、防災マップなどを通じて周知を検討する	2018年度末	小田川洪水ハザードマップの作成済み	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】町HPや防災マップで周知 【時期】2020年度以降 	<ul style="list-style-type: none"> 各構成員が既に保有する浸水実績等に関する情報を共有し、市町において速やかに住民等に周知する方法等を検討 	2017年度から検討	検討中	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】周知方法を検討 【時期】未定 													

<ul style="list-style-type: none"> 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団等からの河川巡視情報の共有体制及び手段等の仕組みの再構築を検討 	引き続き毎年実施	<ul style="list-style-type: none"> 毎年4月に連絡体制の確認 町防災訓練にて伝達訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】引き続き町防災訓練等に実施 【時期】毎年実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市町へ管理委託している樋門の操作点検時にあわせて地元水防団・樋門操作員の連絡体制の確認を実施 水防団等からの河川巡視情報の共有体制及び手段等の仕組みの再構築を検討 	引き続き毎年実施	<ul style="list-style-type: none"> 樋門操作点検を実施 水防団との意見交換会 	引き続き実施										<ul style="list-style-type: none"> 水防団との伝達訓練 樋門操作員との伝達訓練及び避難訓練 維持工事による特別巡視訓練 水防団等からの河川巡視情報の共有体制及び手段等の仕組みの再構築を検討 	毎年出水期前に実施	<ul style="list-style-type: none"> 水防団との意見交換会(2019.5.23) 樋門操作説明会を開催(2019.5.20) 特別巡視訓練を実施(2019.5.31) 	引き続き出水期前に実施
<ul style="list-style-type: none"> 減災対策協議会等による水防団等との共同点検等の実施及び重要水防箇所の精査・見直し 水防連絡会等について、地域住民の参加や周知方法を検討 	引き続き毎年実施	<ul style="list-style-type: none"> 樋門点検を出水期前に実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】樋門点検の実施 県管理河川における重要水防区域の共同点検及び住民へ周知 【時期】出水期前に実施 	<ul style="list-style-type: none"> 減災対策協議会の開催 重要水防箇所の精査・見直し 水防連絡会等について、地域住民の参加や周知方法を検討 	毎年出水期前に実施	<ul style="list-style-type: none"> 水防連絡会及び合同点検に参加 重要水防箇所の見直し、合同点検を実施 	引き続き実施	<ul style="list-style-type: none"> 減災対策協議会等に参加し、水防団等との共同点検の実施 【大洲警察署】2017年5月16日、肱川・矢落川水防連絡会による重要水防箇所の巡視・点検を実施 【肱川大規模氾濫に関する重要水防箇所現地確認に参加し危険箇所の巡視を実施(2019.5.21) 【大洲警察署】2017年5月16日、肱川・矢落川水防連絡会による重要水防箇所の巡視・点検を実施 2019年5月31日、肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会 肱川大規模氾濫に関する重要水防箇所現地確認に参加し危険箇所の巡視を実施(2019.5.20) 	毎年出水期前に実施	出水期前の共同点検に随時参加する。						<ul style="list-style-type: none"> 減災対策協議会の開催及び重要水防箇所の確認 水防団幹部との意見交換会 重要水防箇所の精査・見直し 水防連絡会等について、地域住民の参加や周知方法を検討 	毎年出水期前に実施	<ul style="list-style-type: none"> 水防連絡会及び合同点検を実施(2019.5.20) 	引き続き出水期前に実施	
<ul style="list-style-type: none"> 水防団・自主防災組織・消防署等の関係機関が連携した水防訓練の実施 水防資機材の把握と情報共有 	引き続き毎年実施	<ul style="list-style-type: none"> 消防署と連携し水防団や自主防災組織による水防工法訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】水防団等と訓練に向けた協議を行う 【時期】毎年実施 	<ul style="list-style-type: none"> 水防従事者を対象に水防活動に用いられる各種水防工法について説明・実演を行う。 水防資機材の把握と情報共有 	随時	<ul style="list-style-type: none"> 大洲市消防団(水防団)との水防工法訓練に参加 西予市消防本部に西予土木事務所水防倉庫の鍵を備え付け、連携している 	引き続き参加									<ul style="list-style-type: none"> 水防団、消防団の団員内、水防工法の指導者育成を実施 水防資機材の把握と情報共有 	毎年出水期前に実施	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織による水防訓練の実施(2016.10.16) 大洲市消防団(水防団)との水防工法訓練の実施(2019.5.19) 水防災・減災ハンドブックを作成(2018.3) 	引き続き出水期前に実施	
<ul style="list-style-type: none"> 消防団の活動を広報誌やホームページ掲載等広報活動を実施 	引き続き毎年実施	<ul style="list-style-type: none"> 消防団の活動を広報誌やHPへ掲載等、広報活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】水防団等と団員確保に向けた検討を行う 【時期】毎年実施 	<ul style="list-style-type: none"> 水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討支援 	2017年度から検討	検討中	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】検討実施 【時期】未定 									<ul style="list-style-type: none"> 水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広報の進め方について検討の上、順次実施 	2017年度から検討実施	<ul style="list-style-type: none"> 水防月間のチラシ内で水防団員募集の記事を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】引き続き啓発の実施 【時期】毎年実施 	
<ul style="list-style-type: none"> 大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整 	2018年度から検討実施	検討中	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】町内の防災機関と連携協議 【時期】2020年度以降 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整 	2017年度から検討	検討中	<ul style="list-style-type: none"> 【内容】検討調整 【時期】未定 									<ul style="list-style-type: none"> 大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整 	2017年度から検討実施	<ul style="list-style-type: none"> 流域の浸水想定区域図をとりまとめた資料を作成し、協議会において情報提供 	引き続き実施	

○肱川の減災に係る取組方針

概ね5年で実施する取組の実施状況及び今後の予定

項目	事項	内容	課題の対応	取組の進捗状況	大洲市				伊予市				西予市				砥部町			
					実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
		・河岸侵食等も考慮した、水防用資機材の配置計画の見直し及び広域支援の検討	I3、I4	実施中	・河岸侵食等も考慮した、水防用資機材の配置計画の見直し	2016年度から検討実施	検討中	【内容】水防用資機材の配置計画の見直し 【時期】2020年度												
		・巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を含めた巡視計画の見直し及び補門操作員等の安全性確保に関する避難基準等の検討	H3、H6、H7、H8、K5、K9、K10	実施中	・巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を含めた巡視計画の見直し及び補門操作員等の安全性確保に関する避難基準等の検討	2016年度から検討実施	国、県の操作基準を基に検討を行う。	【内容】継続して検討 【時期】2020年度												
		・計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討 ・河川防災ステーション等の水防拠点の整備・活用について、関係機関と情報を共有し、市町等の円滑な水防活動等、活用方を検討・調整	J1、J2	実施中	・計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討 ・河川防災ステーション等の水防拠点の整備・活用について、関係機関と情報を共有し、市町等の円滑な水防活動等、活用方を検討	2016年度から検討実施	関係機関と検討を行う	【内容】検討の実施 【時期】2020年度以降												
	■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																			
	・要配慮者利用施設、関係各課と連携した情報伝達訓練及び避難訓練の計画の検討を行うとともに、避難確保計画の作成に向けた支援の検討を実施	F1、F3、F4、F5、F6、F7	実施中	・要配慮者利用施設・福祉施設担当部局と連携して、情報伝達訓練や避難訓練の計画を検討を行うとともに、避難確保計画の作成に向けた支援の検討を実施(区域内関連施設19施設)	2016年度から順次計画	地域防災計画掲載施設に対する避難確保計画策定について呼びかけ実施	【内容】地域防災計画に掲載する要配慮者利用施設の基準設定及び避難確保計画策定に向けた支援の実施 【時期】2020年度	・中山川における浸水想定区域の設定など、具体的な被害想定が明らかになった段階で、関係機関と連携して要配慮者利用施設に対する避難確保計画の作成支援方法について検討する	2021年度まで	検討中	【内容】継続して検討 【時期】随時	・要配慮者利用施設、関係各課と連携した各種訓練及び計画の検討	随時	検討中	【内容】関係機関と連携した訓練及び計画作成支援を検討 【時期】随時	・要配慮者利用施設、関係各課と連携した各種訓練及び計画の検討	随時		【内容】要配慮者利用施設の見直しを行い、以後、情報伝達訓練等の支援を実施予定 【時期】要配慮者利用施設の見直しは2019年度中	
	・浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制・方法について検討	J1、J3、J4、J5、J6、J7、J8	実施中	・浸水想定区域内の災害拠点病院等に関する情報を共有し、管理者等への情報伝達体制・方法を検討	2017年度から検討実施	災害医療対策会議を開催し検討を行う	【内容】引き続き検討実施 【時期】2020年度	・中山川における浸水想定区域の設定など、具体的な被害想定が明らかになった段階で、災害時に拠点となる施設管理者間の情報伝達体制・方法について検討する	2021年度まで	検討中	【内容】継続して検討 【時期】随時	・各施設管理者等に対する情報伝達体制・方法の検討	2017年度から検討実施	検討中	【内容】情報伝達体制・方法の検討実施 【時期】2020年度	・各施設管理者等に対する情報伝達体制・方法の検討	2017年度から検討実施	検討中	【内容】継続して検討 【時期】随時	
	・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	E3	実施中	・消防・商工業界等と連携して、浸水区域企業等を訪問、災害情報提供のチラシ等の配布による啓発	2016.5頃	東大洲地区の企業に対し災害時の情報配信サービスについてのチラシ等配布を行う。	【内容】未登録及び新規事業所に引き続き啓発する。 【時期】毎年実施													
	・浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等の機能確保に関する情報を共有 ・耐水化、非常用電源等の必要な対策については、各施設管理者において順次実施し、対策の実施状況については協議会で共有	J1	実施中	・浸水想定区域内の災害拠点病院等の機能確保に関する情報を共有 ・耐水化、非常用電源等の必要な対策の実施状況については、各施設管理者において順次実施し、実施状況については協議会で共有	2017年度から検討実施		【内容】耐水化、非常用電源等の必要な対策の実施状況及び災害拠点病院等の機能確保に関する情報の共有 【時期】2020年度	・中山川における浸水想定区域の設定など、具体的な被害想定が明らかになった段階で、必要とされる資機材の整備について検討する ・対策実施状況の共有	2017年度から検討実施	検討中	【内容】継続して検討 【時期】随時	・各施設の機能確保情報の共有 ・対策実施状況の共有	2016年度から検討実施	検討中	【内容】情報共有・対策実施状況の共有 【時期】2020年度	・各施設の機能確保情報の共有 ・対策実施状況の共有	2016年度から検討実施	検討中	【内容】継続して検討 【時期】随時	
2)ソフト対策の主な取組 ③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化																				
■排水活動の強化に関する取組																				
	・浸水被害確認システムによる内水状況の共有	K3、K8	実施中	・国システムによる内水状況の共有	実施中	内水状況共有中 ・浸水被害確認システム操作訓練を実施	引き続き共有													
	・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る洪水による浸水想定も考慮し、排水機場、樋門、排水路等の情報共有、排水ポンプ車及びポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排水計画及び広域支援の検討を実施	K1、K2、K4、K6、K7	実施中	・内水排除対策(ポンプ排水委託)の実施 ・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る洪水による浸水想定も考慮した排水機場、樋門等の情報共有を踏まえた、排水ポンプ車等の配置先の再検討	2016年度から検討実施	肱川減災対策計画に基づき、内水排除対策(ポンプ排水委託及びポンプ等レンタル契約)の実施	【内容】引き続き、内水排除対策を実施する。 【時期】毎年実施 ※特設事業の整備に合わせた新たな肱川減災対策計画の策定に取り組み、(計画策定業務委託、肱川減災対策連絡会設置等)													
	・水防管理者が浸水被害軽減地区を指定する際の参考となるよう、浸水エリアの拡大を抑制する効果があると認められる土地に係る情報の提供を実施	M1	実施中	国、県と協同し、浸水エリアの拡大を抑制する効果があると認められる土地の情報を提供	2017年度から検討実施		【内容】浸水エリアの拡大を抑制する効果があると認められる土地の把握及び情報提供 【時期】2020年度	・国、県と協同し、浸水エリアの拡大を抑制する効果があると認められる土地の情報を提供	2017年度から検討実施	検討中	【内容】国、県と共同し、情報提供の検討実施 【時期】2020年度									

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整				
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	
				・河岸侵食等も考慮した、水防用資機材の配置計画の見直し	2016年度から検討実施	検討中	【内容】協議会等での支援体制の検討 【時期】2019年度									・河岸侵食等も考慮した、水防用資機材の配置計画の見直し及び広域支援の検討	2016年度から検討実施	・水防資機材の必要量の検討を実施	【内容】 ・水防資機材の必要量について時点更新する 【時期】 ・2018年度以降順次更新	
・巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を含めた巡視計画の見直し及び樋門操作員等の安全確保に関する避難基準等の検討	2018年度から検討実施	関係職員による樋門操作等の現地確認	【内容】引き続き実施 【時期】毎年度	・巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を含めた巡視計画の見直し及び樋門操作員等の安全確保に関する避難基準等の検討	2016年度から検討実施	関係機関との協議	【内容】関係機関との協議・検討 【時期】2018年度									・巡視員の安全性確保やリスクの高い箇所を含めた巡視計画の見直し及び樋門操作員等の安全確保に関する避難基準等の検討	2016年度から検討実施	・巡視計画は適宜見直しを実施 ・樋門操作員への説明会を実施(2019.5.20)	引き続き実施	
				・計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討 ・河川防災ステーション等の水防拠点の整備・活用について、関係機関と情報を共有し、市町等の円滑な水防活動等、活用方を検討	2016年度から検討実施	検討中	【内容】検討調整 【時期】未定									・計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討 ・河川防災ステーション等の水防拠点の整備・活用について、関係機関と情報を共有し、市町等の円滑な水防活動等、活用方を検討	2016年度から検討実施	・計画規模を超える洪水の外力を選定し、浸水想定区域図を作成した(2018年度) ・越前川河川防災ステーションの平常時の利活用について、大洲市と協議を行い、利活用計画を作成した。(2019.3.22)	【内容】 ・水防拠点の代替施設の検討を実施予定 【時期】 2020年度までに検討	
小田川における浸水想定区域設定により、具体的な被害想定が明らかになった段階で、関係機関と連携して要配慮者利用施設に対する避難確保計画の作成支援方法について検討する	2018年度から検討実施	検討中	【内容】関係機関と連携協議 【時期】2020年度以降	・越前川流域市町が実施する避難訓練の支援	2016年度から順次計画	講習会プロジェクト(西予市主導)を2019年度実施予定であったが、延期	講習会プロジェクト(西予市主導)実施予定													
小田川における浸水想定区域設定により、具体的な被害想定が明らかになった段階で、各施設管理者等に対する情報伝達体制・方法を検討する	2018年度から検討実施	検討中	【内容】関係機関と連携協議 【時期】2020年度以降	・浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制・方法について検討	2017年度から検討実施	検討中	【内容】検討 【時期】未定	・浸水想定区域内の災害対策拠点である庁舎に関する情報を共有し、洪水時の情報伝達体制・方法について検討	2017年度から検討実施	関係機関・団体等との連絡窓口を設定。 【大洲警察署】 ・気象警報発令に伴い、自治体リエゾンを派遣。(2019.8.14~16)	連絡手段の多重化及び防災時等のリエゾン派遣などによる連携強化を推進する。					・浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有し、各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制・方法について検討	2016年度から検討実施	・流域の浸水想定区域図をとりまとめた資料を作成し、協議会において情報提供	【内容】必要に応じて必要な情報共有を図る 【時期】適宜	
小田川における浸水想定区域設定により、具体的な被害想定が明らかになった段階で、各施設管理者等に関する情報を共有し、その対策について確認する	2018年度から検討実施	検討中	【内容】関係機関と連携協議 【時期】2020年度以降	・浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等の機能確保に関する情報を共有	2016年度から検討実施	検討中	【内容】共有情報の検討 【時期】未定									・計画規模降雨を超える洪水を考慮した水防拠点の代替施設の検討 ・浸水想定区域内の災害対策拠点である市町・県・国庁舎や災害拠点病院等の機能確保に関する情報を共有	2016年度から検討実施	・流域の浸水想定区域図をとりまとめた資料を作成し、協議会において情報提供	【内容】必要に応じて必要な情報共有を図る 【時期】適宜	
																・浸水被害確認システムによる内水状況を市と共有するとともに、情報の高度化を検討	実施中	・浸水被害確認システムによる情報を共有(国、大洲市) ・浸水被害確認システム操作訓練を実施(2019.6.4)	必要に応じてシステムの改良を実施	
・県管理区間における内水被害対策の検討	2019年度から検討実施	検討中	引き続き検討	・県管理区間における内水被害対策の検討	2018年度から検討実施	検討中	引き続き検討									・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る洪水による浸水想定も考慮し、排水機場、樋門、排水路等の情報共有、排水ポンプ車及びポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排水計画及び広域支援の検討を実施	2016年度から検討実施	・計画規模及び想定最大規模降雨を想定した浸水被害に対する越前川防災計画書を作成。 ・計画規模洪水による浸水被害に対する排水計画(手順書)を作成	【内容】適宜更新 【時期】適宜更新	
関係機関と共同し、水防管理者が浸水被害軽減地区を指定する際の参考となるよう、浸水エリアの拡大を抑制する効果があると認められる土地に係る情報の提供を実施	2017年度から検討実施	検討中	【内容】関係機関と連携協議 【時期】2020年度以降	・水防管理者が浸水被害軽減地区を指定する際の参考となるよう、浸水エリアの拡大を抑制する効果があると認められる土地に係る情報の提供を実施	2017年度から検討実施	検討中	【内容】提供情報の検討 【時期】未定									・水防管理者が浸水被害軽減地区を指定する際の参考となるよう、浸水エリアの拡大を抑制する効果があると認められる土地に係る情報の提供を実施	2017年度から検討実施	・流域の浸水想定区域図をとりまとめた資料を作成し、協議会において情報提供	【内容】必要に応じて必要な情報共有を図る 【時期】適宜	

○肱川の減災に係る取組方針

概ね5年で実施する取組の実施状況及び今後の予定

項目	事項	内容	課題の対応	取組の進捗状況	大洲市				伊予市				西予市				砥部町			
					実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
		排水ポンプ車等による訓練の実施	K2	実施中																
		ダムを有効活用するためのダム操作について判断基準、操作ルール等の検討を実施	M1	実施中																
		洪水貯留準備操作(事前放流)の充実を図り、より多くの容量を確保することを検討	L1, L2	実施中																
		「ダム検証等の場」の結果及び鹿野川ダム改造事業による増量された治水容量を有効に活用できるよう、ダム操作ルールを検討	L1	実施中																
		ダムの安定的な容量確保(ダムのかさ上げや利水容量から洪水調節容量への振替等)による検討	L2	実施中																

3) 地域経済を支える浸水対策の取組 ①地域経済を支える浸水対策(東大洲地区の生産性向上)

■地域経済を支える浸水対策に関する取組																			
		<激特事業> <肱川> ・小長浜箇所等の堤防整備 ・加世箇所等の堤防整備 ・玉川・只越箇所等の堤防整備 ・如法寺箇所等の堤防整備 ・柚木箇所等の堤防整備 ・東大洲箇所外7箇所の暫定堤防嵩上げ ・JR矢落川橋梁の陸開等 ・小倉・中尾・父・裾野・追打下流・本郷・追打上流・菅田・村島・阿部板野・池田成見工区の暫定的堤防整備 <久米川> ・久米川工区の堤防整備等 <激特事業以外> (肱川) ・惣瀬箇所等の堤防整備 ・東大洲箇所外6箇所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダムの改造 ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備 ・野村工区の堤防整備等 ・肱川(河辺川合流点付近)の河床掘削及び河辺川護岸嵩上げ ・柚木、裾野第二、藤の川、譲葉、大川、宇和川工区の暫定的堤防整備等 <流域内河川> ・河床整正等による流下阻害箇所の解消	M1, M2, M3, M4	実施中															
		【再掲】 大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	E3	実施中	・消防・商工業課等と連携して、浸水区域企業等を訪問・災害情報提供のチラシ等の配布による啓発	2016.5頃	東大洲地区の企業に対し災害時の情報配信サービスについてのチラシ等配布を行う。	【内容】未登録及び新規事業所に引き続き啓発する。 【時期】毎年実施											

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整			
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
																・毎年度1回以上排水ポンプ車等による訓練を実施	毎年実施	・排水ポンプ車訓練の実施(2019.7.26)	・毎年実施
																・ダムを有効活用するためのダム操作について判断基準、操作ルール等の検討を実施	2016年度から検討実施	・令和2年度出水期までに治水協定(事前放流)締結に向けた調整を実施。 ・野村ダムの概略検討を実施。	【内容】 ・令和2年度出水期までに藍川流域の治水協定を締結。 ・野村ダム改造に向けた検討を実施。 【時期】 令和2年度も継続検討
																【野村ダム】 ・2018年7月豪雨時に利水者から同意を得た250万m3の洪水貯留準備操作(事前放流)を継続(洪水調節容量350万m3と合わせて600万m3による洪水貯留) ・より一層の容量確保に向けて、利水者との協議も継続 ・今後の気象予測精度向上等が必要(アンサンブル予測等を用いた貯水位回復予測の精度を向上させることで、利水者の同意を得やすい環境を整備) ・貯水位低下速度の向上に向けて、貯水池安定性の確認や下流河川の影響を確認しつつ、より一層の容量確保に努める ・容量を有効に活用するための放流能力の増強の検討を行う	2018年度から検討実施	・600万m3の洪水貯留について、令和元年度は利水者と協議済み(藍川流域治水協定を令和2年出水期までに締結)。 ・より一層の容量確保に向けて利水者協議を行うとともに、貯水池安定性についても確認・検討を実施。 ・気象予測の精度確認に向けた検討継続。 ・ダム施設増強について検討実施。	【内容】 藍川流域治水協定(事前放流)を令和2年出水期までに締結。 【時期】 平成2年度
																【野村ダム・鹿野川ダム】 ・鹿野川ダム改造事業の完了(2018年度)に合わせて、藍川流域全体に有益となるよう操作規則を変更 ・激特事業等によるダム下流の河道整備の進捗(概ね5年後)に合わせて、両ダムを有効に活用できるよう操作規則を変更	2018年度から検討実施	・鹿野川ダム改造事業後の野村ダム・鹿野川ダムの操作規則変更を令和元年6月に実施済。 ・河道整備の進捗に合わせて操作規則変更を検討。	【内容】 ダム下流河道整備の進捗に合わせた操作規則変更を検討 【時期】 河道整備に合わせて逐次検討
																【野村ダム・鹿野川ダム】 ・ダムの嵩上げ、利水容量から洪水調節容量への置換等による洪水調節機能の増強について検討を継続	2018年度から検討	・藍川流域治水協定(事前放流)を令和2年出水期までに締結するため調整中。 ・野村ダム改造に向けて検討中。	【内容】 ・藍川流域治水協定(事前放流)を令和2年出水期までに締結予定。 ・地形・地質及び社会的条件等を整理して検討継続。 【時期】 令和2年度
				<激特事業> <藍川> ・小倉・中尾・父・堀野・追打下流・本郷・追打上流・菅田・村島・阿部板野・池田成見工区の暫定的堤防整備 <久米川> ・久米川工区の堤防整備等 <激特事業以外> <藍川> ・岩瀬川工区の暫定的堤防整備 ・野村工区の堤防整備等 ・藍川(河辺川合流点付近)の河床掘削及び河辺川護岸嵩上げ ・柚木、稲野第二、藤の川、鎌高、大川、宇和川工区の暫定的堤防整備等 <流域内河川> ・河床整正等による流下阻害箇所の解消	2023年度までに実施 2023年度までに実施 2023年度までに実施 2019年度から検討 引き続き実施	<藍川> ・菅田工区の約30mが完成 ・村島工区の上流部約870mが完成 ・岩瀬川工区 藍川本川から約440mが完成 ・その他の工区については実施中 <久米川> 段階的嵩上げの工事推進 <流域内河川> 河床整正を実施中	【内容】 <藍川> ・目標時期内に完成するよう事業を推進 <久米川> ・目標時期内に完成するよう事業を推進 <流域内河川> 必要に応じて実施												
																<激特事業> <藍川> ・小長浜箇所の堤防整備 ・加世箇所の堤防整備 ・玉川・只越箇所の堤防整備 ・如法寺箇所の堤防整備 ・柚木箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外7箇所の暫定堤防嵩上げ ・JR矢落川橋梁の陸開等 <激特事業以外> <藍川> ・忍瀬箇所の堤防整備 ・東大洲箇所外6箇所の段階的嵩上げ ・旧堤撤去による流下能力不足解消 ・鹿野川ダムの改造	2020年度 2023年度 2018年度 2018年度 2018年度	<激特事業> ・全面所実施中 <激特事業以外> ・忍瀬箇所の堤防整備(2018年度完成) ・東大洲箇所外6箇所の段階的嵩上げ(完了) ・旧堤撤去(完了) ・鹿野川ダム改造(完成)	【内容】 ・目標時期に完成するよう事業を推進

○肱川の減災に係る取組方針

概ね5年で実施する取組の実施状況及び今後の予定

項目	事項	内容	課題の対応	取組の進捗状況	大洲市				伊予市				西予市				砥部町			
					実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
		<p>【再掲】</p> <p>現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る洪水による浸水想定も考慮し、排水機場、樋門、排水路等の情報共有、排水ポンプ車及びポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排水計画及び広域支援の検討を実施</p>	K1、K2、K4、K6、K7	実施中	<p>・内水排除対策(ポンプ排水委託)の実施</p> <p>実施中</p> <p>2016年度から検討実施</p>	<p>・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る洪水による浸水想定も考慮した排水機場、樋門等の情報共有を踏まえた、排水ポンプ車の配置先の再検討</p>	<p>肱川減災対策計画に基づき、内水排除対策(ポンプ排水委託及びポンプ等レンタル契約)の実施</p>	<p>【内容】引き続き、内水排除対策を実施する。</p> <p>【時期】毎年実施</p> <p>※特事業の整備に合わせた新たな肱川減災対策計画の策定に取り組む。(計画策定業務委託、肱川減災対策連絡会設置等)</p>												

内子町				愛媛県				警察署				気象台				四国地整			
実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定	実施内容	時期	現在までの実施状況	今後の予定
・県管理区間における内水被害対策の検討	2019年度から検討実施	検討中	引き続き検討	・県管理区間における内水被害対策の検討	2018年度から検討実施	検討中	引き続き検討									・現状の河川管理施設の能力を大幅に上回る洪水による浸水想定も考慮し、排水検操、樋門、排水路等の情報共有、排水ポンプ車及びポンプ排水委託の最適な配置も踏まえた排水計画及び広域支援の検討を実施	2016年度から検討実施	・計画規模及び想定最大規模降雨を想定した浸水被害に対する広川防災計画書を作成。 ・計画規模洪水による浸水被害に対する排水計画(手順書)を作成	【内容】 適宜更新 【時期】 適宜更新